

令和2年度 公共交通勉強会

公共交通を取り巻く環境は、自動車交通の普及や超高齢社会の到来など、様々な要因が複合的に重なり合う大変厳しい状況にあり、行政や交通事業者が単独で対応するには限界があります。

そこで、県では、公共交通を取り巻く諸課題の解決に向け、地域公共交通を担う人材の育成などを目的とし、行政及び事業者を対象とした勉強会を平成19年度から毎年開催しています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、録画配信による開催に変更し、運行情報データの活用、ローカル線の活性化の取り組み、活性化再生法の改正やMaaSの概要についてご講演いただき、交通事業者や自治体が抱える課題の解決に向けた取組を県内の公共交通事業者、自治体等に提供させていただきました。

今後も勉強会を通じて、公共交通の担い手への情報提供や様々な連携に結びつけられるよう取り組みます。

【主催】兵庫県県土整備部県土企画局交通政策課

【共催】国土交通省神戸運輸監理部

【後援】(公社)兵庫県バス協会、関西鉄道協会、兵庫県生活交通対策地域協議会

視聴回数	区分	本編	
		第1回	第2回
	計	延べ103回	延べ90回

本編	
第1回	【日時】 令和2年12月25日(金)～令和3年2月19日(金) 【場所】 録画配信 【内容】 定住を推進するために公共交通にできること～経路検索だけじゃない！データの活用へ～ 岐阜県中津川市定住推進課係長 柘植 良吾 ローカル線で地域を元気にする方法 えちごトキめき鉄道 代表取締役社長 鳥塚 亮
第2回	【日時】 令和3年3月31日(水)～令和3年6月30日(金) 【場所】 録画配信 【内容】 改正地域公共交通活性化再生法の制度と運用について 国土交通省神戸運輸監理部総務企画部運輸企画調整官 川又 淑史 日本版MaaSのつくり方～先駆的な海外と国内事例を学ぶ～ モビリティジャーナリスト 楠田 悦子

参加者アンケート

【選択回答】

区分	第1回	第2回
回答総数	61名	7名
勉強会の満足度 (回答の平均)	90.7点	82.9点

【自由回答】

「まずは経路検索、更新も含めしっかりやらねばと考えました。」(第1回)

「自分たちと同じような環境でがんばっている自治体職員の奮闘ぶりを知ることができ、とても励みになった。」(第1回)

「コロナ禍における厳しい状況の中で地方交通活性に関し、失敗をおそれずに前向きに取り組んでいるところが良かったと思います。」(第1回)

『公共交通の利用を、子ども時代の体験を通じて習慣付ける』自分のいすみ鉄道への実体験(と中学時代の写真)を通じて説明頂いたのには説得力がありました。このようなMMは言うは易しだが、継続が大変であり、それをイチから築き上げられたことがすばらしく、他路線での利用促進にも参考になると感じました。(第1回)

「地方交通の活性化に関する今後の課題に対応する参考になった。」(第2回)

「海外の公共交通の状況(乗り放題券)等も分かり、公共交通初心者ともよく分かる内容だった。」(第2回)

「内容がタイムリーでかつ分かりやすかった。」(第2回)